

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	1-2201
研究課題名	長期時系列試料解析に基づく海洋マイクロプラスチック微細化・表層除去過程の解明
研究実施期間	2022(令和4)年度～2024(令和6)年度
研究代表機関名	東京大学
研究代表者名	高橋 一生

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

これまでに報告されている中では最長となる約70年間にわたる海表面プラスチックごみ密度の長期変動を解析することにより、停滞期と再増加期があることを世界で初めて明らかにし、海洋に流出したマイクロプラスチックの輸送と沈降除去過程を高精度で再現・予測できるモデルを開発した。また、2015年以降にみられるプラスチック重量濃度の急増に関するメカニズムについても学術的にユニークな知見を得ており、論文化にもつながっている。海洋プラスチックを理解するための多くの成果を生み出したことは科学的、社会的に高く評価でき、本課題の成果が今後様々な排出抑制の方策につながることが期待される。本課題で得られたデータや開発された解析システムが、A-Plat等のプラットフォーム上で利用できるように配慮してもらいたい。